

## 八千代市総合事業とユーアイやちよのサービス

平成 28 年 10 月からの総合事業開始に伴い、更新時《新規認定時》に、介護度が、要支援 1・2 で、予防訪問介護や予防通所介護サービスのみ利用継続の方は総合事業扱い、今まで通りの要支援ケースでも、ヘルパーサービスについては更新時より「訪問型サービス」の利用となりました。内容は変わりません。制度変更について、利用者さんへの説明を適切に行いましょう。

### 各種研修報告

#### 受講感想

### 《対人援助とコミュニケーション》 定例研修会

城西国際大学客員教授 松下やえ子氏 28/11/10 (11/12)

- ・コミュニケーションという会話に頼りがちですが、ボディランゲージや服装 etc とたくさんの配慮が必要となること。とても勉強になりました
- ・非言語コミュニケーションでは背中では感情を表しているとのことで、知らないところで、利用者さんに背中を見られているかもしれない。そんな面のコミュニケーションも大切にしていきたい。
- ・利用者さんは送り手、ヘルパーは受け手！より良いコミュニケーションのために積極的に受け手になる姿勢が必要。

### 《高齢者とせん妄》

～なぜ、高齢者は急に暴れだすの？～

介護従事者対象研修会に参加して 市民会館 28/10/12

八千代病院認知症疾患医療センター 講師 八千代病院 三浦伸義氏

“せん妄”とは種々の身体疾患、薬剤などによる急性の脳機能不全の状態をさし、ほとんどが数日で回復する。高齢者はせん妄になりやすい。脳の機能がコロコロ変わること、心の病と違う点。表情認知は出来るので、不穏な時は、穏やかに笑顔で会話することが大切。高齢になると身体症状に不具合が隠れていて、意識障害が出てから、内科の病気がわかることがある。(片平世津子)



### 《私達が生きていく時代と福祉》

“たすけあいの原点に立ちかえる”

千葉県たすけあい協議会印旛・山武ブロック研修会 四街道市民会館 28/12/10

NPO 法人井戸端会議代表 講師 伊藤茂樹氏

国は制度をすすめ、維持するため、壁を強固にしている。高齢化が進み、ますます介護市場が必要になってくる。ロボット化も実用化される時代。右肩上がりの時代が止まりレールから外されると感じる若者は、不安を抱き生きづらさをかかえることとなる。20代に引きこもりを経験した伊藤氏のミッションはぶれない。

まなざしを変え、寄り添い、安心できる場！居場所があつて、受け止めてくれると感じると人は変わる。高齢者も若者も！障害者も！

制度の壁を少しずつ軟らかくし、働く場、居場所を心地よく変えていく方に価値観を見つめる新しい動きに希望を感じました。(末次治子)



### 《在宅で暮らす地域住民が困っていることは？》

28/11/25

八千代台地域のケアマネと市社協八千代台地域、福祉委員さんとのグループワーク

(八千代台包括支援センター主催)

支会の人たちが身近に考えている地域の困りごとや、こうしてほしいという内容を聞くことが出来てよかった。ケアマネとの視点が違っている事にも気づかされる。今後も地域の支援(地域資源)にかかわっている人たちとの連携を図っていきたい。(吉田京子)